

令和7年度第3回札幌方面東警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和7年12月17日（水） 午後4時00分から午後5時10分までの間

2 開催場所

札幌方面東警察署 署長室

3 出席者

(1) 協議会委員 7人（定員8人）

会長	佐々木 厚史
副会長	清水 拓也
委員	茶谷 隆司
委員	長江 一司
委員	山田 信子
委員	種村 愛
委員	川端 教文

(2) 警察署員

署長	長谷川 孝之
副署長	松岡 貞行
刑事・生活安全官	松下 貴治
地域官	田辺 優
交通官	佐伯 利博
警務課長	宮下 佳憲（庶務担当）

4 会長挨拶

5 署長挨拶

6 審議

(1) 業務説明

交通官

- ・ 交通事故の発生状況（11月末現在）
- ・ 交通死亡事故の発生
- ・ 啓発活動の実施状況

(2) 要望意見に対する回答

ア 要望意見（令和7年9月18日）

配偶者暴力（DV）について教えて欲しい。

○ 警察回答（刑事生活安全官）

- ・ 配偶者暴力に係る相談受理件数、検挙件数について
- ・ 配偶者暴力（DV）の定義
- ・ 暴行、傷害について
- ・ DV事案での検挙事例、検挙以外の援助措置等
- ・ DV事案に付随して他の法令等に抵触するおそれ
- ・ 児童虐待、ストーカー規制法について

イ 要望意見（令和7年9月18日）

ヒグマ対策について教えて欲しい。

○ 警察回答（地域官）

- ・ ヒグマ目撃の受理状況、札幌市の目撃状況、東警察署管内の目撃等の状況について
- ・ ヒグマ駆除に係る関係法令（警察官職務執行法、緊急銃猟制度）について
- ・ ヒグマ出没認知時の具体的な対応要領について
- ・ 市街地に出没した場合の対応
- ・ 市町村や道との連携について
- ・ 今後の対応について
- ・ 東警察署管内の交番の建替状況（札幌交番の開所式、元町交番の解体）について

7 協議会委員発表（川端委員）

令和7年秋の山の実なり調査結果について

- (1) 警察官職務執行法第4条（避難等の措置）と緊急銃猟の違い
- (2) 今年の実なり状況について（ヒグマ出没原因の一つ）
- (3) ライフル弾と散弾について

8 質疑応答及び要望意見

- (1) 委員 配偶者暴力の相談受理件数と検挙件数が、右肩上がりとなっていました、この要因としてどのようなことが考えられるのでしょうか。

警察 被害者保護の観点から、東警察署では検挙できるものは積極的に検挙するという方針でやっていますので、その結果として表れたと思います。

また、時代背景から配偶者暴力等に関する通報が多くなっているとも考えられます。

委員 児童虐待は、しつけとの境界も難しくなっていると思いますが、学校もそうだと思いますが、家庭でも気を付けないといけないということですね。

- (2) 委員 東区では令和3年にヒグマの出没があり、住民の関心が高いと思います。警職法と緊急銃猟制度について説明がありましたが、新しい制度の緊急銃猟は市街地での事案となり、予防的対応という点を含めると、範囲が広いのかなと感じ、また、ヒグマ対策については、地域住民に対する周知の大切さと、東区、警察、猟友会が連携を密にして対策していく必要があると感じました。

委員 先日も東区の住宅街でヒグマが出たようで、住宅街では撃てないと思うのですが、ヒグマの追い込み先についてどのように考えていますか。

警察 出没場所にもよりますが、人身被害の防止を第一に考え、パトカー等で警戒しながら人がいない地域へ追い込むことを考えます。

難しい点もあると思いますが、関係機関の連携を密にして対応します。

9 次回、協議事項の検討

委員 次回の協議事項については、留置管理業務についてお願いします。

事務局からその他の協議事項の提案があればお願いします。

警察 その他の協議事項につきましては、事務局で検討後、次期開催が近づきましたら、改めてご案内させていただきます。

10 次回の開催予定

- (1) 令和8年3月の開催を予定
- (2) 協議テーマ
留置管理業務について